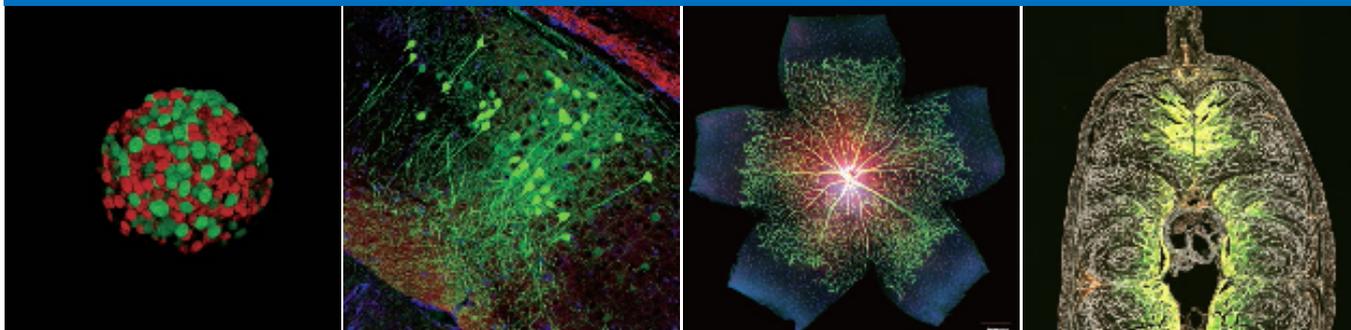


共焦点タイムラプスイメージングと最新技術紹介



- **日時** : 2015年11月27日 (金) 18:00 ~ 18:45
- **開催場所** : M&Dタワー 21階南西 21Fセミナー室
(申し込み不要、直接ご来場ください)
- **演者** : オリンパス株式会社 技術担当者

◆ セミナー概要

細胞の活性を維持しながらライブイメージングするためには、温度、CO₂、装置の管理が必要です。幹細胞支援室に導入済みのボックス型共焦点顕微鏡には、インキュベータが内蔵されており、安定した長期培養ライブイメージングが可能です。

本セミナーでは、オリンパス技術担当者をお招きして、共焦点タイムラプスイメージングでのノウハウやアプリケーション事例の他、最新イメージング技術の紹介をして頂きます。

これから共焦点観察やタイムラプス観察をご計画の方、既にご利用の方、最新技術を学ばれたい方は、是非ご参加ください。

OLYMPUS



■ 幹細胞支援室導入済み顕微鏡

ボックス型共焦点顕微鏡

- ① FV10i-W (タイムラプス用 : Live cellサンプル)
37℃、5%CO₂、湿度管理。60x水浸対物レンズ
- ② FV10i-DOC (ドキュメンテーション用 : 固定サンプル)
60x油浸漬対物レンズ

<共通仕様> Blue/Green/Red/Far-Red観察対応

【学内問い合わせ先】 難治疾患研究所 幹細胞支援室(M&Dタワー24F北) 齊藤 佳子

内線 : 4777

Mail : ksaito.scl@mri.tmd.ac.jp